



店舗内で発生する魚腸骨(鮮魚のアラ)を飼料化

～得られた飼料で鶏卵を生産し店舗で販売～

ヨークベニマル
(山田鉤取店)
【小売業】

ヨークベニマル各店では、店舗内で発生する生ごみのうち、約2割を魚腸骨(鮮魚のアラ)が占めています。

そこで、その魚腸骨を分別・収集し、処理業者において養鶏用飼料に加工しています。得られた飼料は、自社で契約している養鶏場などで利用し、そこで得られた鶏卵は、ブランド卵として販売しています。

また、食品や雑貨、衣料品などの納品の際には、通い箱(専用コンテナ)を活用し、ダンボールの使用量削減に寄与しています。



発生する魚腸骨を分別



納品に活用される通い箱

店舗で発生した魚腸骨が飼料となり、それが鶏卵へ。食品残さが資源として循環している事例です。



社員の自発性と全員参加でごみゼロオフィスへ

～ごみゼロでクリーンなオフィスを実現～

リコー東北 株式会社
【卸売・小売業】

リコー東北のごみゼロオフィスの活動は、社員の自発的な工夫や自ら決めたルールで運営されています。毎日行われるごみの計量・記録・片付けなどは、月ごとにグループを組んでの当番制で、役職に関係なく、全員が参加・実践しています。

オフィス内にある分別コーナーは、お客様にも見える一番目立つ場所に設置し、全員の目で常にキレイな状態を保っています。

また、必要な資料以外机の上に置かない、外出する際は資料だけでなくパソコンもしまつなど、クリーンなオフィスも実現しています。



フロア中央にある分別ステーション



整然としたオフィス

誰かがやるだろう・・・ではなく、役職に関係なく全員参加。環境配慮型オフィスのモデルとなる事例です。

ごみ減量・リサイクルは、環境に配慮した取り組みの第一歩です!

エコにごショップ・エコにごオフィス

3R事例集

仙台市では、環境への負荷が低減される循環型社会の構築を目指し、「100万人のごみ減量大作戦」を展開し、その一環として、ごみ減量・リサイクルの推進など、環境配慮に取り組む店舗・事業所を「エコにごショップ」・「エコにごオフィス」として、認定・支援しています。

この事例集は、多くの認定事業所の中から、特徴的な先進事例を紹介しています。皆様の環境活動にお役立てください。

なお、この3R事例の詳しい取り組み内容については、ワケルネット (<http://www.gomi100.com/>)でも紹介します。

事業者の皆様、認定申請をお待ちしています。



環境配慮型店舗
エコにごショップ
仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会



環境配慮型事業所
エコにごオフィス
仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会



環境に優しいビルづくり ゼロエミッションへの挑戦

～生ごみや紙類などで循環型処理システムを構築～

株式会社 一・四・一
【不動産業】

ファッションビル141では、廃棄物を19種類に分別、16種類についてはリサイクルし、その内4種類については、得られた製品をビル内で再利用しています。

特に、生ごみに関しては、施設内に生ごみ処理機を導入、たい肥としてリサイクルしています。そのたい肥は、県内の生産者へ提供し、作られた野菜は、地下の食品売り場で販売しています。

生ごみ以外でも、紙類はトイレトーパーに、割り箸はコート紙などにリサイクルされ、館内で再利用しています。



生ごみ処理機



野菜の販売状況

館内で発生した廃棄物がリサイクルされ、また館内で再利用される。循環型社会の未来がここにあります。



“わりばし”から“ぬりばし”へ

～年間15万膳(A4コピー用紙で5万枚分)の資源節約～

有限会社 岩沼屋ホテル
【サービス業】

秋保温泉岩沼屋では、平成16年より、館内で使用する箸を、“わりばし”から“ぬりばし”に替えました。この結果、年間15万膳、A4コピー用紙に換算すると5万枚分の木材資源の節約につながっています。

お客様からも、“ぬりばし”は、手ざわりが良く、口ざわりも優しいなど、好意的なご意見を多数いただいています。

また、調理で年間約1,500リットル発生している廃食用油は、近くの小規模通所授産施設に提供、石けんにリサイクルされています。



使用している“ぬりばし”



廃食用油はリサイクル石けんに

発生抑制とリサイクルを組み合わせ、環境にも優しく、またお客様にも満足いただいている事例です。

～ 仙台市内で事業を営む皆様へ～

手続簡単

ごみ減量・リサイクルなど環境に配慮した店舗・事業所

申請無料

エコにごショップ エコにごオフィス を募集します。

ごみ減量・リサイクルを進め環境にやさしい店舗「エコにごショップ」・事業所「エコにごオフィス」の認定を受けませんか。ごみの減量リサイクルに係る、10項目の取り組みのうち、4項目以上の活動を実施していることが条件となります。認定を受けると、ワケルネットで紹介するほか、各種広報でPRさせていただきます。詳しくはワケルネットをご覧ください。

認定の申請

所定の申請書を認定委員会へ提出します。なお、申請は無料です。

認定の審査

認定委員会において、提出いただいた申請書に基づき審査し、認定します。

認定書

認定した店舗・事業所に交付し、HP等で市民の皆様へ広く紹介します。

シンボルマークとステッカー

シンボルマークの入ったステッカーを掲示していただきます。

認定期間

3年間。認定期間終了前に、更新認定申請書を提出していただきます。

応募先

随時募集しています。申請書は、ワケルネットからダウンロードできます。

仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会事務局

(仙台市環境局リサイクル推進課内)

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-7-17 小田急仙台ビル10F

TEL.022-214-8230 FAX.022-214-8840

ワケルネット <http://www.gomi100.com/>



古紙/パルプ配合率100%
再生紙を使用しています。

このパンフレットもリサイクルできます。
集団資源回収などを利用しましょう。
平成19年2月



商品の包装は繰り返し利用できる通い箱で

～納品に繰り返し利用できるダンボール箱を活用～

エヌ・エム・ビー電子精工
株式会社
【製造業】



使い捨ての包装資材から、繰り返し利用できる通い箱に変えたことで、ダンボールが廃棄物となくなりました。通い箱の返送費を考慮しても、経費削減にもつながっています。

今後は、緩衝材の少ない通い箱やガムテープを極力使用しない通い箱の開発を行い、更なるごみ減量・リサイクルを目指します。

工場内で発生する廃棄物は、13分別を行うと共に、わかりやすい分別表示により、ごみ減量・リサイクルに努めています。



製品輸送時の安全性を十分確保しながら、包装資材の工夫により、ごみ減量・リサイクルを実践している取り組みです。



ダンボールを
通い箱
として利用



13分別の
状況



エコにこオフィス認定を契機にコスト削減

～廃棄物処理に係る経費を20%削減することに成功～

株式会社 システムズ
【電気通信工業業】



実は、エコにこオフィス認定の申請をきっかけに、ごみ減量・リサイクルに本格的に取り組まれました。

平成18年4月からごみ分別をルール化し、社内用のホームページに掲載するほか、目に触れるところに注意喚起の貼り紙をしました。

両面コピーはもちろんのこと、ファクシミリやデータ管理や文房具類の繰り返し利用などに心がけ、昨年度に比べ、ごみ処理経費を20%削減することに成功しました。



エコにこオフィス認定をきっかけに、ごみ減量・リサイクルを推進し、大幅な経費削減につながった事例です。



パンフ等の分別



紙類の分別



計量システムの導入で生ごみの発生抑制・リサイクル

～昨年に比較して生ごみの20%削減に成功～

仙台ターミナルビル
株式会社
【不動産賃貸業・ホテル業】



平成17年4月から、エスパル仙台とホテルメトロポリタン仙台では、テナントやレストランなど計62箇所から発生する生ごみについて、テナントごとに分別、計量・排出(有料)していただくシステムを導入しました。

これにより、テナントの皆さんの意識が向上され、発生抑制や水切りの徹底により、平成17年度は、平成16年度に比較して、生ごみの排出量を20%以上抑制することに成功しました。

分別した生ごみは、たい肥としてリサイクルされています。



飲食店を大量にテナントにしているところでも、生ごみのリサイクルが可能であることを証明する先駆的な取り組みです。



水切りの徹底



毎日の計量



大量に発生するプラスチックフィルムを資源化

～経費削減だけでなくプラスチックのリサイクルにも貢献～

東邦運輸倉庫 株式会社
【運輸業】



倉庫業界では、荷崩れを防止するため、商品をまとめるプラスチック製のフィルムを大量に使用しています。

これまでは、年間15t以上発生するそれらプラスチックを廃棄物として処理していましたが、平成17年10月から、減容機を導入、減容・圧縮を行い資源物として売却・リサイクルしています。

また、エコステージ協会指導のもと、東北初のエコステージ認証取得企業として、環境に配慮した経営にも心がけています。



排出される廃棄物が均質で商品としての価値があることに着目、再資源化と経費削減につなげた事例です。



梱包に
使用される
プラ



減容後の
プラスチック



お客様とのコミュニケーションでスマートラッピング

～お客様のご理解・ご協力で容器包装削減を目指す～

株式会社 藤崎
【小売業】



藤崎百貨店では、日本百貨店協会のキャンペーンと連携して、平成18年6月から毎月5日を「スマートラッピングの日」とし、包装削減の取り組みを展開しています。

ご自宅用の場合には、簡易包装にさせていただくなど、お買い上げ商品の用途により、メリハリのある包装をお客様とのコミュニケーションの中で呼びかけ、簡易包装をお願いしています。

オリジナルマイバッグの販売や、ふるしきの魅力を再発見するイベントなども行なっています。



百貨店の魅力の一つである包装。その魅力を損なわず、お客様とのコミュニケーションで削減を目指している取り組みです。



スマートラッピング
PR



マイバッグの普及



“ココロとカラダに美味しい味”は“環境にも優しい”

～商品のラベルや紙袋の工夫により環境配慮を実践～

ぷりん家
【製造小売業】



平成17年12月の開店以来、簡易包装の推進やレジ袋の削減、リターナブルびんの活用など、積極的に環境配慮に心がけています。

レジ袋やスプーンは、使用の有無を必ずお客様に確認しています。プリンをイメージした淡い黄色の紙袋は、セロテープやホチキスを使わずに、買われたお客様のリサイクルにも配慮しています。

カップに使用しているラベルをはがし易いものにする、後のセラメル容器を再利用し易いものにするなど、細かい工夫もしています。



手作り、無添加という“コンセプト”が、環境にも優しい商品という“コンセプト”とも調和している事例です。



商品は紙袋で



ラベルもはがし易く



自社のリサイクルセンターを新設

～リサイクル率の大幅アップによる循環型社会への貢献～

みやぎ生活協同組合
【小売業】



平成18年8月、大衡村にリサイクルセンターを新設し、店舗から発生する生ごみや古紙類などのリサイクルを推進させています。

店舗での分別を徹底。野菜くずなどの生ごみに関しては、1日4tをたい肥化、ダンボールやチラシなどの古紙類についても1日22tを圧縮機で圧縮し、リサイクルルートに乗せています。

その他にも、発泡スチロールについては、溶融機により溶融・減容し、インゴット状にしてリサイクルルートに乗せています。



消費者の協力と店舗での分別徹底により、効果的にリサイクルセンターの運用を実践、資源循環を実現している事例です。



店頭回収
(岩切店)



圧縮された
段ボール



オリジナルエコキャラクターで楽しく環境配慮

～「ビッキー」と「たまを」が社内外で大活躍～

株式会社 ユーメディア
【製造業】



平成16年10月から、オリジナルキャラクター「ビッキー」と「たまを」を活用し、分かりやすく、楽しい環境活動を実践しています。

環境への取り組みは、どうしても堅苦しくなりがちなものです。そこで、社内の分別ボックス表示や節電への協力依頼など、キャラクターをフルに活用して、楽しく実践できる工夫をしています。

また、出前授業や環境広報誌「エコニュース」にも登場し、学校やお客様、外注先を巻き込んだ環境活動でも活躍しています。



環境活動を身近なものに感じてもらうために、キャラクターを活用して、楽しく取り組んでいる事例です。



ビッキー

たまを

